

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年6月12日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部 国際日本学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2026年5月22日
明治大学卒業予定年月	2028年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	ニューヨーク州立バッファロー校(日本語名) University at Buffalo(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2025年8月～2026年5月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 8月下旬～12月上旬 2 学期: 1月中旬～5月中旬 3 学期: 4 学期:
学生数	32000人
創立年	1846年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (USD) (1 現地通貨 = 160 円)	B 日本円	備考
授業料	0	円	協定留学のため
宿舍費	14,000	円	
食費	800	円	
図書費	0	円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費		60,000 円	
現地交通費	0	円	シャトルバスを利用していたため(<input type="checkbox"/> 大学 まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	円	
旅費(留学中)	3,000	円	
被服費	400	円	
医療費	0	円	
保険費	1,800	円	形態:
渡航旅費	800	円	一時帰国も含めて
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他	200	円	冷蔵庫購入
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	21,000 (=3,363,885 円)	60,000 円	
総計(A+B) ※円		3,423,885 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：日本 目的地：バッファロー 経由地：シカゴ

復路 出発地：ロサンゼルス 目的地：日本 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社：ANA 料金：約 20 万

復路 航空会社：United Airlines 料金：約 20 万 ∴合計：約 40 万

航空券購入方法

旅行代理店(店名：)

インターネット(サイト名： ANA, United Airlines)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前： Good year Hall) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 2 人)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学のホームページ上で

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

South campus にある Good year というところに滞在していました。ほとんどの留学生が North campus にある学生寮に住んでいたため、授業がない日に遊びに行く時など、シャトルで North まで行くことが少し最初不便でしたが、だんだんそれも慣れてくるのであまり問題はなかったです。寮を選択する時には、自分が取っている、あるいは取ろうとしている授業の教室の場所と同じの方が過ごしやすいと思います。South campus にも、もちろん寮はあるのと、基本的にどこにでもシャトルバスが通っているため、交通手段に関してはとても充実していると思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: _____)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: _____)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省からのメールで、注意喚起を定期的に受けていました。学内の寮で一度だけ盗難が発生した時も、大学からメールがあり、注意するように指摘を受けたくらいです。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

冬の時期に大雪など天候が荒れていた時などは、少しだけ学内のどこでもインターネットの接続が不安定でした。気候的にしょうがないことでもあったので、それを気にしなければ全く問題はなかったです。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的にはお家族共有のカードを使用していました。現地で新しくカードを作ったり、銀行口座を作ることはしなかったです。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

日本のゴミなどのお菓子や薬、インスタントで作れる食べ物など。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 正規の入学している学生よりも開始時期が遅く設定されていたため、人気の授業ですでに定員オーバーになっている授業もありました。	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Research Methods	調査方法
科目設置学部・研究科	COM
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回
担当教授	Yanmengqian Zhou
授業内容	コミュニケーションに関する身近な調査から様々なことを結果から分析していく授業。
試験・課題等	毎週のレポートとグループワークでの作業と定期試験 3 回
感想を自由記入	調査の対象となるものがコミュニケーションに関する日常に関係するものだったので、理解しやすく面白かったです。また Excel を使った調査結果の数値の分析方法なども学べて楽しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
The Roots of English		英語の起源
科目設置学部・研究科	LIN	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に50分が3回	
担当教授	Micaela Martin	
授業内容	英語の起源を辿り、どの言語から英語が借用されたのかや、英語の発音の出来上がり方や変化の仕方などを学ぶ講義。	
試験・課題等	毎週のレポートと定期試験2回	
感想を自由記入	発音の話題で、日本語の発声方法と英語の発声方法の比較の話があり、自分の母語と英語とでの比較だったので、とても新鮮に感じました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Communication and Sports		コミュニケーションとスポーツ
科目設置学部・研究科	COM	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に80分が2回	
担当教授	Arthur Raney	
授業内容	スポーツエオ報道するメディアで使われているコミュニケーションにはどのような役割があるのかなどを学ぶ講義。	
試験・課題等	毎週のレポートと定期試験3回	
感想を自由記入	アメリカでの一般的なスポーツの話題が多く、その内容を理解するだけでも知らないことが多くて少し難しかったです。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intercultural Communication	異文化間コミュニケーション
科目設置学部・研究科	COM
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Brian Reynolds
授業内容	異文化間でのコミュニケーションではどのような課題や誤解が生じるのかや、どの文化ではどの概念が重要視されているかなどを学ぶ授業。
試験・課題等	レポート3回と定期試験2回
感想を自由記入	グループワークのプロジェクトで、大学内の様々な文化グループをそれぞれ調べて発表するというのがあり、学内のことをより知れて面白かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Music and Money	音楽とお金
科目設置学部・研究科	MUS
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Derek Strykowski
授業内容	音楽業界での経済のあり方について学べる授業
試験・課題等	各ユニットごとの小テストと隔週のレポート
感想を自由記入	音楽業界の経済への貢献の仕方や現代のSNSの効果などについても学べて楽しかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Language and Diversity in US	アメリカの言語と多様性
科目設置学部・研究科	LIN
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Adbulkadir Adamu
授業内容	アメリカの様々な言語やその多様性について学ぶ授業。
試験・課題等	定期試験2回と授業内ライティングの課題
感想を自由記入	秋学期の時に履修した授業と少し似ている部分が多く、英語の歴史なども深く学べて面白かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Health Communication	健康コミュニケーション
科目設置学部・研究科	COM
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Yanmengqian Zhou
授業内容	日常の健康行動に対する態度にはコミュニケーションはどのように関わっているのかを学ぶ授業。
試験・課題等	隔週のレポート提出と定期試験3回
感想を自由記入	SNS などを使って伝え方を工夫したコミュニケーションの仕方によっても健康に対する意識が変化していくということなどを学べて興味深かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Media Literacy	メディアリテラシー
科目設置学部・研究科	COM
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	Bonnie McCracken Nickels
授業内容	SNS の使い方などによって変化する自分のメディアに対する判断力や現在の身につけておきたいメディアリテラシー力などについて学ぶ授業。
試験・課題等	授業内のワークシートと、定期試験 3 回
感想を自由記入	グループワークで自分たちでメディアリテラシーを鍛えるためのオンラインツールを作るというワークがあり、様々なグループで様々なアイデアが出てきて面白かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Internship Practicum	インターンシップ
科目設置学部・研究科	JPN
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 60 分が 4 回
担当教授	Mitsuaki Shimojo
授業内容	UB で日本語の授業を取っている生徒の手伝いをする。
試験・課題等	なし
感想を自由記入	英語を少し使いながら日本語を教えるというのが自分にも相手にも刺激になっていて、とても楽しかったです。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	留学についての情報集め始める。
	4月～7月	TOEFL の勉強、留学関連の情報が出始める。
	8月～9月	TOEFL 高いスコアが取れるまで受ける。
	10月～12月	留学申し込む。
留学開始年	1月～3月	留学の結果出る。
	4月～7月	ビザ取得、航空券購入、その他の留学準備
	8月～9月	渡米、学内のイベント
	10月～12月	中間試験、期末試験
留学/帰国年	1月～3月	冬休み、一時帰国、中間試験
	4月～7月	クラブのイベント、期末試験、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留學生活全般等について、アドバイスを記入してください。

バッファローは冬がとにかく寒くて雪が沢山降る場所です。なので、他のアメリカの州と比べても圧倒的に一年間気温が低いのが当たり前なので、気候の変化なども気をつけた方が良いと思います。—20 度まで下がったことも普通にあってキャンパス内の大きな湖も冬になると全部凍っちゃうくらい冷えちゃうので、そこだけ行く前に知っておくだけでもだいぶ準備しやすいと思います。キャンパスがとにかく広くて基本的に何でも揃っているの、現地の友達と仲良くなってキャンパス内でも沢山遊べます。私のおすすめは何かクラブに入ることです。私はダンスクラブにたまたま入ることになりそこで多くの現地の友達を作ることができました。日本と比べても沢山のクラブがあると思うし、国別でも作られていたり、多様なので、少しでも興味があったり現地の友達と仲良くなりたいなと思ったら結構おすすめです。UB 以外でも映画館やショッピングモール、有名なゲームセンターなどの施設もあるので、そういった場所でも友達と外出して休日過ごしたりもできます。寮での生活もダイニングホールやカフェテリアなどが必ず一つはあるので、そこでいつでも食べられるのと、もちろん自炊することも出来ます。寮によって建物内の仕組みが全く違うので、寮を選ぶときはきちんと場所と中の構造なども見れたらとてもためになると思います。向こうでの初めてのほぼ一人暮らしは大変でしたが、それ以上に現地での体験が何にも代えられない宝物になれたのが、私は 1 番留学できて、UB で留學生活を送れて幸せだったのと思っています。これから行かれるみなさんの留學を応援しています！